

[様式1] 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	2713
部 名	経済部	課 名	商業サービス業課	課長名	加藤一嘉
事務事業名	商店街振興支援事業				
予算上の事務事業名	商店街活性化事業補助金				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31420	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第4節 商業・サービス業の振興				事業開始年度
施策名	第2施策 にぎわいのある商店街づくりの支援				平成11年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市商店街活性化事業補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>商店街の活性化及び、認知度の向上を図るため、商店街が自ら取り組むソフト事業、空き店舗活用事業、イベント事業に対する助成をする。</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>商店街団体</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。</p> <p>(1) 商店街ステップアップ事業 商店街自ら取り組む情報発信事業、リサイクル事業、イベント事業などの商店街の活性化を図る効果が高いソフト事業を実施する経費の一部補助・・・ 2,881千円 (交付先8団体) ※補助率 事業費の1/2以内、補助限度額2,000千円</p> <p>(2) 空き店舗活用事業 商店街が空き店舗を利用し、不足業種の誘致や休憩所などの共同施設などとして活用する場合に必要な改装費・賃借料に対する一部助成・・・ 1,839千円 (交付先 5団体)</p> <p>(3) 商店街イベント事業 商店街が実施する朝市、祭り、イルミネーション、感謝セールなどのイベント開催費の一部を助成・・・9,685千円 (32交付先、47イベント)</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	37,705	21,560	26,524	23,685	23,685
一般財源	37,705	21,560	26,524	23,685	23,685
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,955	2,977	2,957	2,957	2,957
事業コスト合計	40,660	24,537	29,481	26,642	26,642
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	商店街イベント事業補助			対象名称と単位	イベント (回)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	9,942	10,327	9,685	10,197	10,197
対象数	44	46	47	47	47
単位あたり経費(円)	225,955	224,500	206,064	216,957	216,957
前年度比		0.99	0.92	1.05	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	商店街イベント事業補助金交付件数	指標式と指標の説明	当該補助金を受けて実施されたイベント数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	44.0	46.0	47.0		
目標	-	46.0	47.0	47.0	47.0
目標達成度（%）	-	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	PR効果	指標式と指標の説明	PRに大変役立っていると回答した件数/各商店街から報告されたPR効果の回答数×100 ※評価：3段階評価（大変役立っている、まあまあ役立っている、あまり役立っていない）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	-	66%	70%		
目標	-	100%	100%	100%	100%
目標達成度（%）	-	66.0	70.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		商店街活性化のために、半数以上の商店街が当補助金を活用するなどニーズが高く、必要な補助事業ではあるが、より効果的な補助事業とするために、成果、効果についての評価制度を含めた見直しを行なう。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
事業実施にあたり商店街自らが目標数値設定を行い、事業実施後において達成度を報告することで、目標達成度を認識させるなど、意識改革を図りながら事業効果を検証して行くこととする。			<ul style="list-style-type: none"> 適切な検証体制の確立 検証・評価結果を補助率に反映させるなど「選択と集中」の方策の検討 		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価（今後の方向性）のとお	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			